

いなぎ健康かわらばん！



さて、冬本番・・・

思えば天候に惑わされる今年の行事。花火にお祭りなど、野外での行事は散々だったのではないかと思います。と、思ったら年末年始が間近です。改めて一年の経過、時の早さを痛感しております。未だに年頭のことをよく覚えています。その割には自らの成長は遅いといいますが、相変わらず進歩がございません。(笑) 来年こそ飛躍の年でありたいですね。

カナヘビのかな子ちゃん・・・

そういえばこの秋、子供が夏前に捕まえてきた「カナヘビ」が亡くなってしまいました。ワタクシは爬虫類は最大の苦手なのですが、このカナヘビだけは別物でした。多分、今後もカナヘビ以外の爬虫類はダメかもしれません。というのも、目がまん丸でヘビ類と違い手足があります。また色合いもちょっと恐竜チックで地味な茶色。毒々しさは全くありません。よくトカゲと間違われますが、トカゲとは全く別物です。トカゲはいかにもヘビ的なツルツとした肌で、しっぽは瑠璃色に輝いております。コチラはいかにも爬虫類と言った感じです。もし時間がありましたら見比べてみてください

のカナヘビは生きた餌しか食べません。生きていなくても動かして生きているフリをさせないと食べてくれないのです。そこでエサは近所で捕まえたクモや青虫を利用しました。青虫は自家菜園のプランターで育てている菜っ葉類についていた青虫。これは大好物らしく、よく食べてくれました。クモは近所のお寺のコガネグモ。コチラは大きさがカナヘビの頭よりも大きくなると全く見向きもしてくれません。むしろ怖いのか逃げてしまいます。このように初めてのカナヘビの飼育を手探りで行ってました。冬前には放す予定でしたが、自らの決断の遅さが命取りとなってしまいました。通常、爬虫類は冬季は冬眠に入ります。調べますとこのカナヘビも例外ではありません。人工でもこの冬眠状態を作ることが出来るようですが、そう簡単ではないようです。熊同様に餌をたくさん食べさせ、太らせお腹の便を全て排泄させてから、土の中の潜ってもらうのがベストらしいのですが、そうこうしているうちに気温がだんだんと下がってまいりました。爬虫類は気温が下がると活動が全て止まってしまうらしく、自然界では冬眠をして冬を越すのです。ちなみに上手く飼育すれば7～8年は生きるそうです。

また、春先にお腹を空かした状態で現れるのですが、ここに水分を取らないと危険な状態に陥るそうです。以外や以外にこのカナヘビは水をたくさん飲みます。エサも大事ですが水分もとても大切なのです。

さて、爬虫類には最も大切なのが温度管理です。今回はこれで命を落としてしまったと言っても過言ではないです。毛のない爬虫類には体温・熱を作ることはできません。晴れた暖かい日、お日様に暖められた石の上に寝そべってひなたぼっこをするそうです。これは体温を上げるだけでなく、腸の活動をを活発にさせるため。また、日光からの紫外線を吸収することによって体内にカルシウムを生成し、骨を丈夫に保つのだそうです。日光浴の大切さを初めて知りました。だから夏の間は元気だったのですね。今回、残念ながら亡くなってしまいましたが、飼育することによって色々と学ばせてもらいました。以前のカブトムシの飼育でも勉強になりましたが、飼育を通じてかなりの情も移ってしまったことも確かです。たかがペット、され

当院は痛みや不快症状を相手に患者さんとともに戦っています！

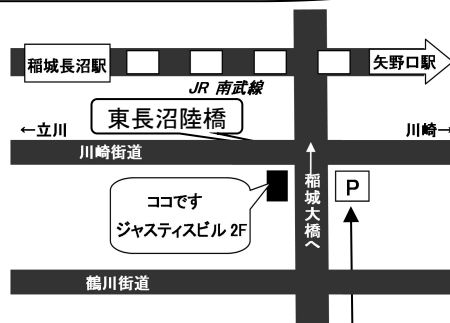
<受付時間> AM9:00～PM7:00(予約優先)

<休日> 日曜日、祝日、水曜日の午後

稲城市東長沼823ジヤスティスビル2F



クロサワ整体院



※お車の方は予約時にお申し付けください。